

兵庫県のハムシ(3) (兵庫県甲虫相資料・350)

高橋 寿郎

Subfamily Eumolpinae サルハムシ亜科

Genus *Acrothinium* Marseul

68. *Acrothinium gaschkevitchii* (Motschulsky, 1860)

アカガネサルハムシ

Motschulskyが *Chrysochus gaschkevitchii* Motsch.として、1860年にJapanから記載した種である (Etud. Ent., 9, p.23, 1860)。この1860年の論文は、函館に駐在したロシア領事Gotschkevitch夫人の採集品に基づくものであるから、函館産をもとに記載したものと思われる(もともと、Gotschkevitchは1854~1855年の間、Putiatin提督と共に下田にいたことがあり、その時の採集品であるのかもしれない)。

Marshallは、この種をタイプに*Acrothinium*属を創設(1864, Proc. Linn. Soc. London, 8, p.47)した。

分布は大変広く、日本全土の他、シベリア、中国などからも知られている。背面の色彩には地理的変異が見られ、九州から南の地域では特に著しく、いくつかの亜種に分けられている。たいへん美しい種であるが、ブドウの害虫としても知られている。

兵庫県下にも広く分布し、ごく普通に見られる。
産地：津名郡愛宕山〔大野, 1969〕。三原郡南淡町諭鶴羽山, 三原町成相峠, 洲本市鮎屋〔大野, 1969〕。洲本市先山〔大野, 1969〕, 上内膳〔藤富, 1995〕。川辺郡猪名川町木間生, 槻並〔仲田, 1978, 1982〕。川西市一ノ鳥居, 笹部, 横地, 芋生〔仲田, 1978, 1982〕。宝塚市小林, 切畑長尾山, 玉瀬, 西谷西部〔水野, 1993〕。西宮市船坂 (lex., 11-VI-1987)。神戸市御影〔関, 1933〕, Hiogo〔Harold, 1875〕, 兵庫区烏原 (lex., 16-VI-1938, etc.), 北区山の街 (lex., 10-V-1959, etc.), 箕谷 (2exs., 11-V-1952), 五社 (3exs., 20-VI-1959), 谷上 (4exs., 29-IV-1958, etc.), 丹生山 (2exs., 18-V-1958), 藍那 (lex., 26-V-1993, etc.), 唐櫃〔岩田, 1983〕, 八多町屏風 (lex., 4-VI-1993, etc.), 西区太山寺 (lex., 26-V-1957), 伊川谷 (2exs., 13-V-1988), 須磨区妙法寺 (lex., 30-IV-1959, etc.), 多井畑 (lex., 23-V-1990)。美囊郡吉川町 (lex., 16-V-1996)。三木市大村 (lex.,

10-V-1990)。小野市来住町 (2exs., 26-VI-1991)。加東郡東条町森 (4exs., 4-VII-1984), 社町三草 (lex., 7-V-1987, etc.)。三田市内 (lex., 28-V-1983, Y. Hachitani leg.)。多可郡加美町白山 (lex., 3-V-1973), 加美町鳥羽 (2exs., 1-VI-1975)。神崎郡大河内町川上 (3exs., 7-V-1977, etc.)。飾磨郡家島町家島 (lex., 26-V-1978)〔上田, 1981〕。龍野市神岡町 (lex., 13-VI-1988)。揖保郡新宮町福原 (2exs., 15-V-1992, etc.)。相生市三濃山 (lex., 3-V-1969)〔大野, 1967〕。粟栗郡波賀町音水 (3exs., 20-VI-1959, etc.)。多紀郡雨石山〔林ほか, 1995〕。氷上郡柏原町〔山本, 1953, 1958〕, 山南町 (2exs., 5-VI-1990)。朝来郡和田山町枚田岡〔上田, 1956〕。出石郡但東町〔高橋, 1963〕。城崎郡三川山〔高橋, 1975〕, 日高町奈佐路 (lex., 22-V-1986)。養父郡八鹿町名草神社, 大屋町藤無山〔岩田, 1983〕, 八鹿町妙見山〔上田, 1996〕, 関宮町氷ノ山 (lex., 27-VI-1956, etc.)〔高橋, 1975, 上田, 1996〕。美方郡温泉町湯村 (lex., 14-VI-1983), 温泉町扇ノ山〔辻, 1963, 辻, 岸田, 1972, 高橋, 1975〕, 浜坂町味原, 城山, 久斗山〔磯野, 1985〕。

Genus *Basilepta* Baly

69. *Basilepta balyi* (Harold, 1877)

チャイロサルハムシ

HaroldがHakone産の標本に基づき、*Nodostoma*属の種として1877年に記載した。JacobyがKiso産をもとに1885年に記載した*Nodostoma japonicum*, OtsukaがMt.Togakushi産に基づき1911年に記載した*Nodostoma otsukae*は、いずれも本種のシノニムである。

背面は一般に赤褐色で、個体によっては黒化し、その程度は様々である。食草としてハンノキが知られており、一時ハンノキサルハムシと呼ばれていたことがある。分布は琉球を除く日本全土。

兵庫県下にも広く分布しているが、やや標高の高い地域に多いようである。

産地：西宮市船坂 (3exs., 28-V-1987, etc.)。神戸市

北区逢山峡 (7exs., 1-VII-1986), 六甲山 (3exs., 22-V-1987, etc.). 城崎郡三川山〔高橋, 1975〕. 神崎郡大河内町川上 (1ex., 24-V-1977). 宍粟郡一宮町福知溪谷 (1ex., 3-VI-1975, M.Yuma leg., etc.), 波賀町音水 (1ex., 3-VI-1975, M.Yuma leg.), 波賀町坂ノ谷 (3exs., 9-VI-1973). 養父郡関宮町氷ノ山 (14exs., 24-VII-1955, etc.)〔高橋, 1975〕. 美方郡温泉町扇ノ山〔高橋, 1975〕. 村岡町鉢北高原〔上田, 1996〕.

70. *Basilepta fulvipes* (Motschulsky, 1860)

アオバネサルハムシ

Motschulskyが1860年に, “W. Siberia: Dauria, Amur” から *Nodostoma fulvipes* として記載した種である. 同時に日本産を *N. atripes* という学名で, 別種として記載したが, 現在では大陸のものと同種として扱われている.

色彩は変異に富み, 頭部, 前胸背板, 上翅はそれぞれ青, 緑, 銅赤, 黄色などの, いろいろな組み合わせとなる. 中條道夫博士は, 1956年にそれらをいくつかの *forma* として区分したが, 中間的な色彩の個体も現れるので, 現在は使われていない. ヨモギが食草である.

兵庫県下では分布は広く, 個体数も大変多い.

産地: 津名郡北淡町岩屋 (3exs., 4-VIII-1957). 洲本市先山〔堀田, 1959〕. 三原郡南淡町諭鶴羽山〔久松, 1974〕. 川辺郡猪名川町内馬場〔仲田, 1978, 1982〕. 川西市見野〔仲田, 1970, 1978, 1982〕. 伊丹市〔河上, 1984〕. 宝塚市上佐曾利, 切畑長尾山〔水野, 1993〕. 西宮市船坂 (1ex., 5-VI-1987). 神戸市灘区摩耶山 (2exs., 14-VIII-1955). 中央区布引 (1ex., 17-V-1951). 北区金剛童子山 (40exs., 24-VI-1956). 兵庫区烏原 (1ex., 18-VI-1939, etc.). 北区藍那 (1ex., 14-VII-1978, etc.). 須磨区多井畑 (6exs., 19-VI-1990, etc.). 北区淡河町芦谷溪谷 (1ex., 5-VII-1982). 西区伊川谷 (4exs., 5-VII-1988). 三木市細川中 (11exs., 11-VII-1985, etc.). 口吉川町 (10exs., 3-VII-1986). 美囊郡吉川町 (1ex., 11-VII-1985, etc.). 小野市山田町 (1ex., 23-VI-1987, etc.). 来住町 (4exs., 21-VI-1971, etc.). 加東郡東条町森 (5exs., 22-VI-1984, etc.). 社町三草 (17exs., 17-VI-1987, etc.). 加西市畑 (3exs., 23-VI-1974). 多可郡加美町三谷 (1ex., 2-VIII-1975). 加美町鳥羽 (1ex., 19-VII-1975). 朝来郡生野町 (2exs., 8-VII-1956). 和田山町枚田ノ園, 山東町田中〔上田, 1996〕. 飾磨郡家島町家島〔上田, 1981〕. 龍野市神岡町 (1ex., 8-IX-1988, etc.). 相生市三濃山〔大野, 1969〕. 宍粟郡一宮町福知溪谷

(1ex., 20-VI-1976). 波賀町音水 (1ex., 20-VI-1959, etc.). 水上郡柏原町, 春日町黒井〔山本, 1953, 1958〕. 春日野惣寺〔高橋, 1960〕. 山南町 (4exs., 11-VII-1963). 出石郡但東町正法寺〔高橋, 1963〕. 豊岡市内〔高橋, 1975〕. 豊岡市目坂〔上田, 1996〕. 城崎郡日高町岩中〔高橋, 1975〕. 日高町奈佐路 (3exs., 19-VI-1986). 城崎町ひのそ島, 香住町準人, 竹野町三原〔上田, 1996〕. 養父郡関宮町氷ノ山 (15exs., 25-VII-1953, etc.). 大屋町杉ヶ沢〔磯野, 1985〕. 美方郡温泉町扇ノ山〔辻, 岸田, 1972〕. 浜坂町味原, 清富〔磯野, 1985〕.

71. *Basilepta hirticollis* (Baly, 1874)

ムナグロサルハムシ (ムナゲクロサルハムシ)

BalyがNagasaki産の標本に基づいて, *Nodostoma hirticollis* として記載した種である (Trans. Ent. Soc. London, 1874, p.167).

前胸背板に剛毛を密生し, 頭部, 前胸背板は点刻を密に装い, 点刻の直径は点刻の間室より大きく, 点刻の間室は平滑. 食草はイヌツゲで, 分布は本州, 四国, 九州, 屋久島である.

兵庫県下での記録は比較的少ない.

産地: 宝塚市大原野美座〔水野, 1993〕. 多紀郡篠山町雨石山〔林ほか, 1995〕. 相生市三濃山〔大野, 1967〕. 養父郡関宮町氷ノ山 (2exs., 27-VII-1956).

72. *Basilepta pallidula* (Baly, 1874)

ウスイロサルハムシ

Balyにより1874年に, 長崎産の標本に基づき, *Nodostoma pallidulum* として記載された種である (Trans. Ent. Soc. London, p.169). その後, Weiseが東京産の標本を基に記載した *Nodostoma laeviuschulum* も, 本種のことである (Verh. Naturf. Ver. Brunn, 48, p.34, 1910).

一般に黄褐色. スギハムシともいわれ, 食草としてスギ, ヒノキ, クヌギ, ナラ類などが知られている. 分布は北海道と琉球を除く日本全土.

兵庫県下にも広く分布していると思われるが, 記録は以外に少ない.

産地: 三原郡諭鶴羽山〔久松, 1974〕. 川西市大和, 笹部〔仲田, 1978, 1982〕. 神戸市六甲山 (1ex., 10-VII-1955). 中央区布引 (2exs., 20-VII-1952). 中央区二十番 (1ex., 26-VI-1955). 兵庫区烏原 (3exs., 11-VII-1958, etc.). 須磨区多井畑 (1ex., 26-VI-1990). 加東郡社町三草 (1ex., 24-VI-1987). 小野

市来住町 (lex., 26-VI-1991) . 龍野市神岡町 (lex., 21-VII-1988) . 氷上郡〔山本, 1953, 1958〕. 養父郡関宮町氷ノ山 (lex., 24-VII-1955) . 美方郡浜坂町味原, 宇都野神社〔磯野, 1985〕.

73. *Basilepta ruficollis* (Jacoby, 1885)

ムネアカサルハムシ

Jacobyにより, Nikko, Fukushima産の標本に基づき, *Nodostoma ruficolle*として記載された種である (Proc. Zool. Soc. London, 1885, p.205, pl.11, fig.10) .

前胸背板は赤褐色, 他はすべて黒色. 前胸後側板には明瞭な点刻をほとんど欠き, 頭頂の点刻は強く, 密に装い, これらの点刻の直径は点刻間室の幅に等しいか, または幅より広い. 前胸背板の側縁はゆるやかに湾曲する. 体長4.7~5.0mm. 分布は北海道と琉球を除く日本全土.

兵庫県下には広く分布するが, やや山地性のようである.

産地: 宝塚市武田尾〔小田中, 1994〕. 多紀郡篠山町雨石山〔林ほか, 1995〕. 氷上郡青垣町神楽〔山本, 1958〕. 朝来郡和田山町糸井溪谷〔上田, 1996〕. 城崎郡三川山〔高橋, 1975〕. 宍粟郡波賀町音水 (lex., 13-VII-1938, etc.) 波賀町赤西 (lex., 23-VI-1979) , 波賀町坂ノ谷 (2exs., 22-VII-1979) . 養父郡関宮町氷ノ山 (lex., 27-VII-1956, etc.) 〔後藤, 1955, 上田, 1996〕. 美方郡温泉町扇ノ山〔辻, 1963, 辻・岸田, 1972, 秋山・日暮, 1995〕.

Genus *Chrysochus* Redtenbacher

74. *Chrysochus chinensis* Baly, 1859 オオサルハムシ

本種は種名にあるように, 中国北部から記載された (Ann. Mag. Nat. Hist. ser.3/4, p.125, 1859) . 日本からの記録は, 1874年のBalyによるHiogo (現在の神戸市) が最初のものとなる (Trans. Ent. Soc. London, 1874-Part. II:165) .

比較的大型で, 藍色の光沢があり美しい. 分布は広いが, 記録はあまり多くない種である. 本種については, 筆者が詳しく報告したことがある (きべりはむし Vol.21, No.2, pp.44-48, 1993) . 食草としてイヨカズラ, サツマイモが知られている.

兵庫県下での記録も多くない.

産地: Hiogo〔Baly, 1874, Heyden, 1879〕. 神戸市北区藍那 (1♂, 15-VII-1993) , 八多町屏風 (1♂1♀, 4-VII-1993) . 加東郡東条町森 (lex., 22-VI-1984, Y. Hachitani leg.) . 氷上郡春日町黒井〔山本, 1953, 1958〕.

Genus *Cleoporus* Lefèvre

75. *Cleoporus variabilis* (Baly, 1874)

サクラサルハムシ

Balyにより, “Nagasaki” 産に基づいて, 1874年に *Paria*属として記載された種である.

背面の色彩・斑紋は変異が多く, 黒色の斑紋の発達状態によって, 全体が黒色のものから全体が黄褐色のものまで様々である. 体長は3.0-3.5mm. 食草としてさくら, ウメ, ナシ, リンゴが知られている. 分布は広く, 北海道と琉球を除く日本全国のほか, 朝鮮半島, シベリア, 中国, 台湾, 東南アジアにまで及ぶ.

兵庫県下にも広く分布している.

産地: 川西市一ノ鳥居寒天干場〔木元・日浦, 1971〕. 西宮市船坂 (lex., 5-VI-1987) . 神戸市北区藍那 (lex., 14-VII-1978, etc.) , 兵庫区烏原 (lex., 15-VI-1982) . 小野市来住町 (lex., 26-VI-1991, etc.) . 加東郡社町三草 (9exs., 5-VI-1989, etc.) 朝来郡生野町 (4exs., 8-VII-1956) . 宍粟郡波賀町音水 (lex., 16-VII-1972) . 氷上郡柏原町〔山本, 1953, 1958〕. 養父郡関宮町氷ノ山 (4exs., 27-VII-1956, etc.) , 大久保~鉢伏高原〔木元・日浦, 1971〕. 美方郡温泉町扇ノ山〔辻・岸田, 1972〕. 浜坂町〔高橋, 1975〕. 浜坂町清富〔磯野, 1985〕.

Genus *Colasposoma* Laporte

76. *Colasposoma dauricum* (Mannerheim, 1849)

イモサルハムシ

Mannerheimが東シベリア産をもとに記載した種である (Bull. Soc. Imp. Nat. Moscow, 1, p.247, 1849) . Motschulsky が E. Siberia: Dauria, Amur 産で記載した *Colasposoma cyanea* (Schrenk's Reisem, Amurl. 2, p.177, pl.11, f.2, 1860) , 同じくMongolie産で記載した *Colasposoma mongolicum* (I.C., 2, P.148, 1860) は, 共に本種と同一種である. 分布は北海道と琉球を除く日本全国, シベリア, モンゴル, 中国.

背面の色彩は, 青藍色のほかに, 緑青色や赤銅色のものがある. 体長は5.3-6.0mm, 食草としてサツマイモ, ヒルガオが知られている.

兵庫県下にも広く分布している.

産地: 津名郡轟木 (lex., 20-VI-1979) . 川辺郡猪名川町上阿古谷〔仲田, 1978, 1982〕. 伊丹市〔河上, 1984〕. 西宮市香櫨園 (3exs., 30-V-1941) . 神戸市兵庫区烏原 (lex., 14-VII-1968, etc.) . 神崎郡大河内町川上 (lex., 15-VII-1977) . 飾磨郡家島町家島 (lex., 26-V-1978) 〔上田, 1981〕. 相生市三濃山

(lex., 20-VII-1974) [大野, 1967]. 宍粟郡波賀町音水 (4exs., 16-VII-1972, etc.). 氷上郡 [山本, 1953, 1958]. 朝来郡和田山町枚田岡 [上田, 1996]. 豊岡市城南 [高橋, 1975]. 養父郡関宮町氷ノ山 (3exs., 24-VII-1956).

Genus *Demotina* Baly

77. *Demotina bipunctata* Jacoby, 1885

フタモンカサハラハムシ (フタモンアラゲサルハムシ)

Jacobyが神戸産の標本で記載した種である (Proc. Zool. Soc. London, 1885, p.204). その後中根猛彦博士が屋久島から*Demotina inornata*として記載した種 (Sci. Rept. Saikyo Univ., ser.A, 2/5, p.304, 1958) は、本種と同一である。

一般に黄褐色、頭部、前胸背板および上翅側方部、上翅基部の小紋は白色。触角、肢は褐色。頭楯の幅は長さの1.7倍。体長3.2mm。分布は本州、四国、九州、対馬、屋久島である。

兵庫県下には広く分布していると考えられるが、記録はあまり多くない。

産地: Kobe [Jacoby, 1885]. 神戸市北区山田町衛原、西区太山寺、中央区大龍寺 [磯野, 1988, 1990], 兵庫区烏原 (lex., 26-V-1982, etc.). 加東郡社町三草 (2exs., 6-VIII-1989, etc.). 養父郡関宮町氷ノ山 (2exs., 27-VII-1956). 美方郡浜坂町 [磯野, 1990], 浜坂町味原、観音山 [磯野, 1985].

78. *Demotina decorata* Baly, 1874

チビカサハラハムシ

Balyにより長崎産をもとに記載された (Trans. Ent. Soc. London, 1874, p.163). 一般に赤褐色～暗褐色。上翅には不規則な黒色紋があり、通常は基部に鱗状の剛毛よりなる白色紋を斜めに装う。触角は赤褐色。触角第2節は第3節に比較して長い。体長2.2-3.0mm。分布は北海道を除く日本全土。

兵庫県下にも広く分布していると考えられるが、記録はそれほど多くない。

産地: 洲本市三熊山 [久松, 1974]. 川辺郡猪名川町木間生 [仲田, 1978, 1982]. 川西市笹部 [仲田, 1978, 1982]. 神戸市北区山田町衛原 [磯野, 1988, 1990], 北区藍那 (lex., 16-IX-1993, etc.), 西区太山寺 [磯野, 1988]. 相生市三濃山 (lex., 3-V-1969, etc.). 宍粟郡波賀町上野 [相坂, 1995]. 氷上郡生郷村 [山本, 1953, 1958]. 多紀郡篠山町雨石山 [林ほか, 1995].

79. *Demotina elegans* Chûjô et Shirôzu, 1955

ヤクカサハラハムシ

中條道夫・白水隆両博士により、屋久島安房産の標本をもとに記載された種である (*Sieboldia*, Kyusyu Univ., 1(3), p.239, 1955).

一般に黄褐色、前胸背板・小楯板・頭部の複眼後方は多少暗色、触角・ふ節は淡色、触角第5節は第3節より明らかに短い。前・中肢のふ節第3節は、後肢のそれより大きい。体長3.0mm。

南方系の種のように、南は台湾あたりまで分布しているが、本州、八丈島、九州にも分布している。

兵庫県下の記録は少ない。

産地: 神戸市灘区摩耶山 (lex., 14-VIII-1955), 北区山田町谷上 (lex., 28-IV-1958), 北区山の街 (lex., 1-VI-1958), 西区太山寺 [磯野, 1984]. 加東郡東条町森 (lex., 4-VII-1984, etc.).

80. *Demotina fasciculata* Baly, 1874

マダラアラゲサルハムシ

Balyにより、長崎産をもとに記載された (Trans. Ent. Soc. London, 1874, p.162).

一般に暗褐色～黒褐色。上翅には通常、基部に鱗状の剛毛よりなる白色紋を斜めに装う。触角は全体赤褐色、肢は赤褐色、たい節末端部とけい節は、基部および末端部が黒色。上翅会合部の末端はまるく、長さは幅の約1.3倍。体長は3.3-4.2mm。

北海道と琉球を除く日本全土のほか、中国南部にも分布している。

兵庫県にも分布し、ごく普通にみられる。

産地: 三原郡南淡町諭鶴羽山 [大野, 1969, 酒井, 1973], 三原町成相峠、洲本市鮎屋 [大野, 1969], 南淡町沼島 [楠井, 1992]. 洲本市先山 [大野, 1969]. 川辺郡猪名川町木間生 [仲田, 1978, 1982]. 川西市笹部 [仲田, 1978, 1982]. 宝塚市下佐曾利 (2exs., 13-V-1983), 下佐曾利、香合新田 [水野, 1993]. 神戸市六甲山 (6exs., 8-V-1955, etc.), 北区山の街 (lex., 23-V-1963), 北区山田町谷上 (2exs., 29-IV-1959, etc.), 北区山田町下谷上 (lex., 12-X-1979), 北区藍那 (lex., 2-V-1976), 北区山田町衛原 [磯野, 1988, 1990] 北区逢山峡 (lex., 2-VII-1982), 西区太山寺 (2exs., 30-IV-1973) [磯野, 1988], 兵庫区烏原 (lex., 30-IV-1984, etc.), 須磨区多井畑 (lex., 23-V-1990). 三木市細川中 (3exs., 13-IX-1985), 三木市 (lex., 4-IX-1986), 口吉川町笹原 (lex., 3-X-1986, etc.). 小野市来住町 (3exs.,

9-V-1991, etc.) . 飾磨郡夢前町雪彦山 (1ex., 14-VI-1957) , 夢前町我孫子 (1ex., 1-VIII-1980) . 多可郡加美町三谷 (1ex., 8-VI-1975) . 神崎郡大河内町川上 (1ex., 7-V-1977, etc.) . 龍野市神岡町 (1ex., 26-V-1989, etc.) 相生市三濃山 [大野, 1967] (21exs., 3-V-1967, etc.) 宍粟郡波賀町音水 (2exs., 20-VI-1959, etc.) . 氷上郡柏原町 (1ex., 10-V-1953) , 香良 [高橋, 1960] , 山南町 (2exs., 5-VII-1990, etc.) . 美方郡浜坂町味原, 宇都野神社, 観音山 [磯野, 1985, 1990] .

81. *Demotina modesta* Baly, 1874 カサハラハムシ
Balyにより, 1874年にNagasaki産で記載された種である。

背面の色彩, 斑紋は変異に富み, 一般に赤褐色または黒褐色, 時にまだら状となる。触角第2節は第3節より短い。小楯板は舌状, 基部は末端部にかけて狭まらない。上翅末端の角度は約90°。体長3.0-4.0mm。分布は北海道を除く日本全土並びに朝鮮半島, 中国。

兵庫県下にも広く分布しており, 普通に見られる。
産地: 洲本市三熊山 [久松, 1974] . 川西市大和, 笹部 [仲田, 1978, 1982, 磯野, 1990] . 西宮市盤滝 (1ex., 3-IX-1987) . 神戸市兵庫区烏原 (1ex., 1-VIII-1971, etc.) [磯野, 1990] , 北区山田町谷上 (1ex., 29-IV-1958, etc.) , 北区逢山峡 (1ex., 1-VII-1986, etc.) , 北区西鈴蘭台大山公園 (2exs., 28-VI-1982, Y. Hachitani leg.) , 北区八多町屏風 (2exs., 22-VII-1993) , 北区山田町衝原, 西区太山寺 [磯野, 1988, 1990] , 須磨区多井畑 (1ex., 19-VI-1990) . 三木市口吉川町 (1ex., 1-VII-1986, etc.) , 細川中 (1ex., 11-VII-1985) . 美囊郡吉川町 (1ex., 16-V-1986) . 小野市山田町 (2exs., 7-VIII-1987) . 加東郡東条町森 (1ex., 4-VII-1984, etc.) , 社町三草 (3exs., 24-VI-1987, etc.) . 龍野市神岡町 (1ex., 13-VI-1988, etc.) . 揖保郡新宮町福原 (2exs., 7-VII-1992) . 相生市三濃山 (1ex., 6-VII-1973) . 宍粟郡音水 (2exs., 10-V-1970, etc.) . 氷上郡 [高橋, 1960] , 柏原町 [磯野, 1990] . 多紀郡篠山町雨石山 [林ほか, 1995] . 豊岡市妙楽寺 [高橋, 1975] . 美方郡浜坂町味原, 観音山 [磯野, 1985, 1990] .

82. *Demotina squamosa* Isono, 1990 アラゲサルハムシ
1990年に, 磯野昌弘博士により福岡県川崎町の標本をholotypeとして記載された (Jpn. J. Ent. 58(2), p.379) . Paratypesには本州, 八丈島, 四国, 九州, 対馬産など。

が指定されており, 兵庫県産としては川西市笹部, 神戸市太山寺のものが含まれている。

一般に黄褐色, 触角第2節は第3節より明瞭に短い。体長2.9-4.2mm。

兵庫県からの記録は少ないが, おそらく広く分布していると考えられる。

産地: 川西市笹部 [磯野, 1990] . 神戸市太山寺 [磯野, 1990] , 宍粟郡波賀町音水 (2exs., 4-V-1972, etc.) , 赤西 (2exs., 10-V-1970) .

83. *Demotina tuberosa* Chen, 1935

コブアラゲサルハムシ

Chenにより, China, Tonkin産で1935年に記載された種である (Sinensia 6(3), p.354, fig.33) . Ohnoにより1960年に記載された *D. japona* (Trans. Shikoku Ent. Soc. 6, p.65) は, 本種のシノニムである。

一般に赤褐色または黒褐色, 前胸背板と上翅には不規則な黒色紋を装う。触角は全体赤褐色, 肢は赤褐色, たい節末端部, けい節の基部および末端部は黒色。上翅後方に隆起条をもつ。体長3.8mm。本州, 四国, 九州, 対馬のほか, 中国南部, ベトナム, ラオスに分布する。

兵庫県下からは次の記録があるだけで, 調査が不十分であると考えられる。

産地: 宍粟郡波賀町音水 (1ex., 25-VI-1972, 3exs., 4-VI-1973) .

Genus *Hyperaxis* Gemminger & Harold

84. *Hyperaxis fasciata* (Baly, 1874)

クロオビカサハラハムシ

Balyにより, 長崎産をもとに *Demotina fasciata* として記載された種である (Trans. Ent. Soc. London, 1874, p.162) .

体は黒褐色から黒と白のまだら状。前胸背板は前縁ぞいに幅広くくぼむ。上翅は後方に斜めの黒条を装う。体長4.2-4.5mm。食草はカシワ類。

分布は北海道を除く日本全土で南は屋久島までである。もともと, 台湾・中国にも分布しているから, 琉球諸島にも分布しているかもしれない。

兵庫県下には広く分布している種で, 普通にみられる。
産地: 三原郡三原町成相峠 [大野, 1969] , 南淡町論鶴羽山 [酒井, 1973] . 洲本市先山 [大野, 1969, 酒井, 1973] . 川辺郡猪名川町三草山 (1ex.5-VII-1980) . 川西市笹部 [仲田, 1978, 1982] . 西宮市船坂 (1ex., 5-VI-1987) , 盤滝 (1ex., 22-V-1987) . 神戸市中央区

布引 (lex., 7-V-1959), 兵庫区烏原 (lex., 20-IV-1955, etc.), 北区藍那 (lex., 28-IV-1993, etc.), 北区逢山峽 (lex., 17-V-1985), 北区山の街 (lex., 11-IV-1954, etc.), 北区山田町谷上 (2exs., 5-V-1956, etc.), 北区山田町丹生山 (lex., 15-V-1955), 北区山田町帝釈山 (4exs., 30-IV-1973), 北区淡河町芦谷溪谷 (lex., 13-IX-1982), 北区山田町衡原, 西区太山寺 [磯野, 1988], 須磨区多井畑 (3exs., 27-IV-1990), 須磨区妙法寺 (lex., 27-II-1979, etc.), 石井ダム (4exs., 18-X-1991), 西区押部谷町木津 (lex., 5-X-1984, etc.), 西区伊川谷町前開 (lex., 18-V-1988), 垂水区垂水 (7exs., 10-V-1985), 美婁郡吉川町 (lex., 6-VI-1985), 小野市山田町 (2exs., 24-IX-1987), 来住町 (lex., 9-V-1981), 加東郡東条町 (lex., 18-V-1984), 社町三草 (lex., 15-V-1987, etc.), 神崎郡大河内町川上 (lex., 3-VI-1977), 龍野市神岡町 (lex., 14-IX-1988, etc.), 相生市三濃山 [大野, 1967] (lex., 7-V-1972, etc.), 宍粟郡波賀町原 (2exs., 11-V-1979), 波賀町音水 (lex., 25-VI-1972, etc.), 多紀郡篠山町雨石山 [林ほか, 1955], 出石郡出石町 [高橋, 1963], 豊岡市愛宕山 [高橋, 1975], 美方郡浜坂町味原, 宇都野神社, 観音山 [磯野, 1985] .

Genus *Lypsethes* Baly

85. *Lypsethes ater* (Motschulsky, 1860)

コフキサルハムシ (リングコフキハムシ)

Motschulskyにより, 日本から *Fidia ater* として記載された種である (Etud. Ent. 9, p.22, 1860). 一般に黒色, 背面はきわめて細い剛毛と白粉に覆われる. 肢は時に赤褐色, 体長6.0-7.0mm. リング, ナシ, ウメ, クルミの害虫として知られている. 分布は琉球列島を除く日本全土である.

兵庫県下にも広く分布している.

産地: 川辺郡猪名川町木間生 [仲田, 1978, 1982], 宝塚市玉瀬 [水野, 1993], 西宮市盤滝 (lex., 22-V-1987), 神戸市六甲山 (lex., 15-V-1955, etc.), 兵庫区烏原 (lex., 9-VIII-1984, etc.), 北区山田町丹生山 (4exs., 15-V-1956, etc.), 多可郡加美町鳥羽 (lex., 1-VI-1975, etc.), 神崎郡笠形山 (lex., 12-VI-1966), 大河内町川上 (lex., 14-V-1977, etc.), 朝来郡朝来町須留ヶ峰 (2exs., 9-VI-1975, M.YUMA leg.), 和田山町糸井溪谷 [上田, 1996], 相生市三濃山 [大野, 1967] (5exs., 7-V-1972, etc.), 宍粟郡波賀町音水 [木元・日浦, 1971] (lex., 31-V-1970,

etc.), 波賀町赤西 (lex., 27-V-1979, etc.), 波賀町坂ノ谷 (lex., 9-VI-1973), 氷上郡 (青垣町) 神楽村 [山本, 1953, 1958], 多紀郡雨石山 [林ほか, 1955], 出石郡出石町 [高橋, 1963], 城崎郡日高町山宮 [高橋, 1975], 日高町神鍋山, 日高町三川山 [上田, 1996], 養父郡関宮町水ノ山 (lex., 25-VIII-1959), 美方郡温泉町扇ノ山 [上田, 1996], 浜坂町観音山 [磯野, 1985] .

Genus *Nodina* Motschulsky

86. *Nodina chalcosoma* Baly, 1874

アオガネヒメサルハムシ

Balyにより, 長崎・China産で1874年に記載された種である. 一般に赤銅色, 触角・肢は赤褐色. 雌では上翅側方に2条の長い隆起と, その中間に短い1条の隆起を装う. 体長1.8-2.5mm. 食草としてブドウ, テリハノイバラ, ノボタンなどが知られている. 分布は北海道を除く日本全土.

兵庫県下にも広く分布している.

産地: 三原郡南淡町論鶴羽山 [久松, 1974], 洲本市先山 [久松, 1974], 川辺郡猪名川町三草山 (3exs., 5-VII-1980), 川西市笹部, 大和 [仲田, 1978], 神戸市六甲山 (lex., 10-VII-1955), 兵庫区烏原 (2exs., 11-VII-1971, etc.), 北区山の街 (lex., 17-V-1953, etc.), 北区藍那 (7exs., 21-VI-1993, etc.), 鈴蘭台大山公園 (lex., 23-VII-1982), 北区八多町屏風 (lex., 22-VII-1993), 須磨区妙法寺 (lex., 28-V-1979), 須磨区須磨 (2exs., 9-VII-1982), 須磨区多井畑 (4exs., 19-VI-1990), 西区伊川谷 (11exs., 6-VII-1988), 三木市細川中 (2exs., 11-VII-1985), 口吉川町 (7exs., 3-VII-1986), 美婁郡吉川町 (3exs., 11-VII-1985, etc.), 小野市山田町 (2exs., 7-VII-1987), 来住町 (5exs., 21-VI-1991, etc.), 加東郡東条町 (8exs., 4-VII-1985), 社町三草 (3exs., 6-VII-1989, etc.), 飾磨郡夢前町雪彦山 (4exs., 14-VII-1957), 朝来郡生野町 (lex., 8-VII-1956), 和田山町宝山 (10exs., 16-VI-1994), 龍野市神岡町 (3exs., 13-VI-1988), 相生市三濃山 (lex., 20-VII-1974), 氷上郡柏原町 [山本, 1953, 1958], 養父郡関宮町水ノ山 (4exs., 2-VIII-1953, etc.), 美方郡浜坂町味原, 観音山 [磯野, 1985] .

Genus *Pagria* Lefèvre

87. *Pagria signata* (Motschulsky, 1858)

ヒメキバネサルハムシ

Motschulskyにより、Burma産に基づき *Metachroma signata* として記載された種である (Etud. Ent., 7, p.110, 1858)。日本からは、Balyが長崎、対馬産をもとに *Nodostoma concimilis* として記載した (Trans. Ent. Soc. London, 1874, p.168) のが最初の記録となる。体長 1.8-2.4mm。背面の色彩・斑紋は変異に富む。前胸背板は黄褐色または黒色。上翅は全体黒色か、あるいは地色が黄褐色で、基部は他の部分より淡色となり、基部後方の横溝、側線部は黒褐色。

ダイズの害虫として知られている。北海道を除く日本全土ならびに東南アジアに広く分布している。

兵庫県下にも広く分布している。

産地：三原郡南淡町論鶴羽山、洲本市鮎屋〔大野, 1969〕、三原町福良〔酒井, 1973〕。洲本市先山〔大野, 1969〕。川西市笹部〔仲田, 1978, 1982〕。伊丹市〔河上, 1985〕。宝塚市切畑長尾山〔水野, 1983〕。神戸市兵庫区鳥原 (14exs., 3-V-1966, etc.)、北区山の街 (1ex., 30-V-1954, etc.)、北区山田町丹生山 (1ex., 15-V-1955, etc.)、北区藍那 (1ex., 22-V-1978, etc.)、須磨区妙法寺 (2exs., 23-VI-1979)、垂水区垂水 (2exs., 10-V-1985)、北区逢山峡 (2exs., 1-VII-1986, etc.)、西区伊川谷 (2exs., 13-V-1988, etc.)、須磨区多井畑 (1ex., 23-V-1990)、北区八多町屏風 (1ex., 2-IX-1993)。三木市細川中 (2exs., 11-VII-1985)、口吉川町笹原 (1ex., 3-X-1986)、口吉川町 (2exs., 3-VII-1986, etc.)。美囊郡吉川町 (1ex., 27-VII-1985, etc.)、吉川町奥山 (1ex., 5-VI-1986, etc.)。小野市下来住町 (2exs., 26-VI-1981, etc.)。加東郡東条町森 (1ex., 4-VII-1984)、社町三草 (2exs., 7-V-1987, etc.)。飾磨郡夢前町雪彦山 (1ex., 14-VI-1979)。多可郡加美町三谷 (1ex., 26-VIII-1975, etc.)。神崎郡大河内町川上 (2exs., 9-VI-1977)。龍野市市岡町 (2exs., 13-VI-1988, etc.)。相生市三濃山〔大野, 1967〕。揖保郡鶏籠山 (1ex., 27-V-1970)、新宮町福原 (1ex., 10-VI-1972, etc.)。佐用郡南光町船越山〔木元・日浦, 1964〕。宍粟郡波賀町音水 (1ex., 25-VI-1972)。氷上郡柏原町〔山本, 1953, 1958〕、山南町 (1ex., 19-VI-1990, etc.)。出石郡出石町〔高橋, 1963〕。豊岡市妙楽寺、立野〔高橋, 1975〕。城崎郡日高町 (1ex., 3-X-1985)。養父郡関宮町氷ノ山 (2exs., 24-VII-1955)。美方郡浜坂町味原、宇都野神社、城山、清富〔磯野, 1985〕。

Genus *Scelodonta* Westwood

88. *Scelodonta lewisii* Baly, 1874 ドウガネサルハムシ
Balyにより長崎産に基づき記載された種である

(Trans. Ent. Soc. London, 1874, p.165)。

背面の色彩には変異があり、赤褐色・緑・青色。体長 3.2-4.0mm。食草としてノブドウなどが知られている。分布は北海道と琉球を除く日本全土。

兵庫県下にも広く分布している。

産地：洲本市先山〔大野, 1969〕。伊丹市〔河上, 1984〕。宝塚市玉瀬〔小田中, 1994〕。神戸市兵庫区鳥原 (1ex., 8-VIII-1965, etc.)、須磨区妙法寺 (1ex., 28-V-1979)、北区淡河町芦谷溪谷 (1ex., 5-VI-1983)。飾磨郡家島町家島〔上田, 1981〕。加東郡社町三草 (1ex., 17-VI-1987)。氷上郡柏原町〔山本, 1953, 1958〕。相生市三濃山〔大野, 1967〕。養父郡関宮町氷ノ山 (2exs., 24-VII-1955)。美方郡浜坂町宇都野神社、清富〔磯野, 1985〕。

Genus *Trichochrysea* Baly

89. *Trichochrysea japona* (Motschulsky, 1857)

トビサルハムシ

Motschulskyにより、Japan産で *Heteraspis japona* として記載された種である (Ent. 6, 37, 1857)。

体背面は赤銅色で、上翅中央部後方に白色紋を装う。前胸背板前角は角張る。小顎ひげの末端節は幅広い。体長 6.2-8.2mm。食草としてクリ、クヌギが知られている。分布は本州、対馬、朝鮮半島および中国である。

兵庫県下には広く分布している。

産地：川辺郡猪名川町木間生、槻並〔仲田, 1978, 1982〕。槻並 (3exs., 4-V-1979)。川西市笹部〔仲田, 1978, 1982〕。宝塚市香合新田〔水野, 1993〕。神戸市東灘区御影〔関, 1933〕。北区山田町丹生山 (1ex., 5-V-1956)、北区藍那 (2exs., 10-V-1979, etc.)、北区淡河町芦谷溪谷 (1ex., 11-VI-1982)、西区太山寺 (1ex., 26-V-1967)。飾磨郡夢前町雪彦山 (2exs., 14-VII-1957)。多可郡加美町三谷 (1ex., 24-V-1975)、加美町鳥羽 (1ex., 1-VI-1975)。朝来郡生野町柝原〔Komiya, Y., 1985〕。相生市三濃山〔大野, 1967〕 (3exs., 3-V-1969, etc.)。宍粟郡波賀町音水〔日浦・木元, 1971〕 (3exs., 31-V-1970, etc.)。多紀郡篠山町小金岳〔山本, 1953, 1958〕。篠山町雨石山〔林ほか, 1995〕。氷上郡妙高山〔山本, 1953, 1958〕。出石郡出石町〔高橋, 1963〕。豊岡市妙楽寺〔高橋, 1975〕。円山川公苑〔上田, 1996〕。城崎郡日高町森山、三川山〔高橋, 1975〕。日高町奈佐寺 (5exs., 22-V-1986)、日高町上郷、神鍋〔上田, 1996〕。養父郡関宮町氷ノ山〔高橋, 1959〕。美方郡浜坂町護国神社、宇都野神社、観音山〔磯野, 1985〕。

村岡町本谷奥〔秋山・日暮, 1995〕。

Genus *Xanthonia* Baly

90. *Xanthonia placida* Baly, 1874 キカサハラハムシ

Balyにより, 長崎産で記載された種である (Trans. Ent. Soc. London, 1874, p.161)。黄褐色で, 個体により体腹面, 上翅会合部および側縁部, 前胸背板中央部および側方部は黒褐色。肢は一般に黄褐色。体長 2.5-3.2mm。

クワの害虫である。分布は北海道と琉球を除く日本全土で, 今のところ国外からの記録はない。

兵庫県下での記録もあまり多くない。

産地: 宍粟郡波賀町音水 (lex., 20-VII-1959), 波賀町坂ノ谷 (lex., 22-VII-1979)。氷上郡〔山本, 1953, 1958〕。朝来郡和田山町宝山 (lex., 26-VI-1994)。

Subfamily Synetinae Edwards ホソハムシ亜科

Genus *Syneta* Lacordaire

91. *Syneta adamsi* Baly, 1877

カバノキハムシ (ホソハムシ)

Balyにより, 対馬・ウラジオストク・満州産の標本をもとに記載された種である (Ann. Mag. Nat. Hist. ser.4, p.378, 1877)。

中根猛彦博士が上高地・日光産に基づいて記載した *S. major* (Fragm. Col. ed. T. Nakane(5), p.19, 1963) も本種のことである。

体色はきわめて変異に富み, 淡色の個体ではほぼ全体が黄褐色から赤褐色であるが, 暗色の個体ではほぼ全体が黒褐色である。雄の後肢けい節の末端部は正常。

食草として, カンバ類, シデ類, ブナなどが知られている。分布は琉球を除く日本全土, サハリン, シベリア, 中国。

兵庫県下にも広く分布している。

産地: 川辺郡猪名川町槻並 (2exs., 4-V-1979)。神戸市北区山田町谷上 (14♂♂5♀♀, 7-V-1961)。多可郡加美町三谷 (lex., 24-V-1975), 加美町鳥羽 (lex., 1-V-1975, etc.)。朝来郡朝来町須留ヶ峰 (lex., 9-VI-1975, M. Yuma leg.)。神崎郡大河内町砥ノ峰 alt.830m〔木元・日浦, 1971〕 (2exs., 7-V-1977, etc.)。揖保郡新宮町福原 (lex., 15-V-1992)。相生市三濃山 (2exs., 3-V-1969, etc.)。宍粟郡一宮町福知溪谷 (2exs., 3-VI-1975, M. Yuma leg.)。波賀町音水 (3exs., 21-V-1979)。多紀郡篠山町小金岳〔山本, 1953, 1958〕。篠山町雨石山〔林ほか, 1995〕。氷上郡柏原町 (1♂1♀, 10-V-1953)。豊岡市三開山〔上田,

1996〕。城崎郡三川山〔高橋, 1975〕。養父郡関宮町氷ノ山 (lex., VII-1955)〔高橋, 1975, 上田, 1996〕。美方郡扇ノ山〔辻, 1963, 辻・岸田, 1972, 上田, 1996〕。村岡町兎和野〔磯野, 1985〕。

Subfamily Chrysomelinae ハムシ亜科

Genus *Chrysolina* Motschulsky

92. *Chrysolina aurichalcea* (Mannerheim, 1825)

ヨモギハムシ

アルタイ地方産に基づき, Mannerheimが*Chrysomela aurichalcea*として記載した種である (1825, in Hummel. Essaia Ent.4, p.39)。

Motschulskyが日本産について記載した, *Chrysomorphia quadrangula* (1860, Schrenk's Reisen Amurl. 2, 226, pl.11, fig.10) および, *Anopachys violaceicollis* (1861, Etud. Ent., 10, p.21) は, 共に本種のシノニムである。

一般に黒青色, 紫青色, 赤銅色。上翅の点刻は不規則, 肩部は明瞭に隆起する。体長7-10mm。食草はヨモギ。分布は日本全国で, 海外における分布も広い。

兵庫県下にも, ごく普通に見られる種である。

産地: 津名郡津名町常隆寺山, 津名町大町〔堀田, 1978〕, 淡路町岩屋, 一宮町, 五色町〔鈴木・櫻井, 1979〕。洲本市桑間〔堀田, 1978〕, 塩屋〔鈴木・櫻井, 1979〕, 洲本市鮎屋〔酒井, 1973〕。三原郡南淡町灘〔酒井, 1973〕, 三原町福良〔酒井, 1973, 鈴木・櫻井, 1979〕。川西市笹部, 若宮, 大和〔仲田, 1982〕。伊丹市〔河上, 1984〕。尼崎市南西部〔新家, 1992〕。宝塚市〔S. Suzuki etc., 1975〕, 売布ヶ丘, 美幸町〔水野, 1993〕。西宮市香櫨園 (lex., 5-V-1942)。Hiogo〔Harold, 1876, Heyden, 1879〕。神戸市東灘区御影〔関, 1933〕, 六甲山 (2exs., 24-IX-1938, etc.)。中央区布引 (4exs., 17-V-1959), 兵庫区烏原 (4exs., 2-XI-1938, etc.)。北区山田町箕谷 (5exs., 23-X-1938), 北区山田町下谷上 (lex., 30-X-1979, etc.)。北区藍那 (lex., 22-V-1978, etc.)。北区道場 (lex., 13-IV-1974), 垂水区東垂水〔木元, 日浦, 1964〕, 須磨区妙法寺 (lex., 8-XI-1978), 西区押部谷町木見 (lex., 28-IX-1990), 西区木津 (lex., 11-V-1984), 西区伊川谷町前開 (2exs., 7-VI-1988, etc.)。明石市明石公園 (2exs., 3-XI-1974, etc.)。松崎 (6exs., 25-X-1973)。三木市細川町細川中 (2exs., 22-V-1985, etc.)。美囊郡吉川町 (lex., 6-VI-1985)。三田市長沢寺 (lex., 3-VI-1978)。加西市畑 (2exs., 23-VI-1974)。加東郡社町 (3exs., 8-V

-1972). 多可郡加美町三谷 (lex., 15-IX-1974). 神崎郡大河内町川上 (3exs., 4-VI-1977, etc.). 飾磨郡家島町家島 [上田, 1981]. 揖保郡新宮町福原 (lex., 22-VI-1992, etc.). 宍粟郡一宮町福知溪谷 (lex., 3-VI-1975, M.Yuma leg.). 波賀町音水 (2exs., 24-VI-1973). 波賀町坂ノ谷 (lex., 9-VI-1973). 多紀郡篠山町雨石山 [林ほか, 1995]. 氷上郡 [山本, 1953, 1958]. 朝来郡和田山町玉置 [上田, 1996]. 出石郡出石町 [高橋, 1963]. 豊岡市立野 [上田, 1996]. 城崎郡日高町 (5exs., 25-X-1985, etc.). 日高町上郷, 香住町土生, 香住町佐津, 竹野町林 [上田, 1996]. 養父郡関宮町氷ノ山 [中根, 1953], 八鹿町妙見山 [上田, 1996]. 美方郡温泉町扇ノ山 [辻・岸田, 1972, 高橋, 1975, 上田, 1996], 浜坂町 (lex., 17-X-1978), 浜坂町味原, 城山 [磯野, 1985].

f. *kiotensis* Bechyné, 1950 ドウガネ型 (*cupreans* form.)
産地: 神戸市六甲山 (lex., 10-IX-1987), 兵庫区島原 (lex., 22-XI-1961, etc.). 加東郡杜町 (2exs., 8-X-1972). 多可郡加美町三谷 (lex., 8-VI-1975), 鳥羽 (lex., 5-VII-1975). 神崎郡大河内町川上 (lex., 4-VI-1977, etc.). 朝来郡生野町 (2exs., 8-VII-1956). 宍粟郡波賀町音水 (lex., 24-VI-1973).
註) オオヨモギハムシ *Chrysolina angusticollis* Motschulskyの記録が以下のようにみられるが, 現在本州におけるこの種の分布地としては青森県・岩手県が知られているのみであり, 兵庫県下での記録には疑問があるので, ここでは目録中に収録しなかった.
記録: 三原郡南淡町諭鶴羽山, 洲本市先山 [堀田, 1978].

93. *Chrysolina exanthematica* (Wiedemann, 1821)

ハッカハムシ

Wiedemannにより, シベリア産に基づいて *Chrysolina exanthematica* として記載されたものである (1821, Germar's Mag. Ent., 4, p.178). 日本から Motschulsky が *Lithoptera subanea* として記載したのは (1861, Etud. Ent. 10, p.21), この種にあたる.

一般に紫黒色, 体背面は銅黒色. 上翅肩部は強く隆起し, 表面に大小の隆起物を列状に装う. 体長 7.5-9.0mm.

食草はハッカ. 分布は琉球を除く日本全国, 朝鮮半島, シベリア, モンゴル, 中国, 台湾, インド北部と広い.

兵庫県下での分布は広いが, 個体数はそれほど多くないように思われる.

産地: 神戸市東灘区御影 [関, 1933]. 三田市内 (lex., 21-IX-1941). 加東郡東条町森 (lex., 4-VII-1984). 宍粟郡波賀町音水 (lex., 21-V-1972), 波賀町坂ノ谷 (lex., 9-VI-1973). 氷上郡 (青垣町) 神楽村 [山本, 1953, 1958]. 朝来郡和田山町枚田岡 [上田, 1996]. 出石郡出石町 [高橋, 1963]. 城崎郡城崎町 (lex., 25-X-1978), 香住町畑 [高橋, 1978]. 美方郡浜坂町 [磯野, 1985].

94. *Chrysolina nikkoensis* (Jacoby, 1885)

ニッコウルリハムシ

Jacobyにより, Nikko, Yunoshiku, Urasaを産地に *Chrysolina nikkoensis* として記載された種である (Proc. Zool. Soc. London, 1885, p.207).

一般に黒青色. 前胸背板は平滑で, 中央部に点刻をほとんど欠く. 上翅には2列1組の点刻を装う. 体長 6.0-6.5mm. 食草はオトギリソウ. 分布地は本州と佐渡島のみである.

兵庫県下からは次の記録があるのみで, よく調べてみなくてはならない種である.

産地: 氷上郡春日町黒井 [山本, 1953, 1958].

註) 美方郡温泉町扇ノ山から, *Chrysolina shikokensis* Nakane, 1960の記録がある [lex., 12-VI-1961, K. Tsuji leg., T. Nakane det., 辻・岸田, 1972]. この種は *C. yezoensis* (Matsumura, 1911) のシノシムとされているが (Takizawa, 1970), 分布からして, *Chrysolina aeruginosa* (Faldermann, 1835) クロルリハムシである可能性がある. 標本を見ていないので, ここでは保留種としておく.

Genus *Chrysolina* Linnaeus

95. *Chrysolina populi* Linnaeus, 1758 ドロノキハムシ
ヨーロッパ産をもとに, Linnaeusにより記載された種である (Syst. Nat. ed. 10, p.370, no locality cited., 1758). 日本からの最初の記録は, Motschulsky による *Lina populi* としてのものである (1866).

一般に黒青色で, 上翅は赤褐色. 会合部末端に小黒紋を装う. 前胸背板側縁は湾曲し, 幅は長さの約2倍. 体長 10-12mm. 食草はヤナギ類, ドロノキ. 分布は大変広く, 日本では琉球を除く全土である.

兵庫県下にも広く分布しており, 個体数も多い.
産地: 川辺郡猪名川町内馬場 [仲田, 1970, 1978, 1982]. 川西市多田 (2exs., 19-VI-1938). 宝塚市売布が丘 [水野, 1993]. 西宮市甲東園 [戸沢, 1936]. 神戸

市東灘区御影〔関, 1933〕, 兵庫区烏原 (2exs., 9-VIII-1938, etc.), 北区山の街 (3exs., 12-VI-1949), 西区木津 (3exs., 2-VII-1984, etc.). 小野市山田町 (4exs., 23-VI-1987). 加東郡東条町森 (2exs., 18-V-1984). 加西市畑 (3exs., 17-VI-1974). 多可郡加美町鳥羽 (1ex., 5-VII-1955). 神崎郡大河内町砥ノ峰 alt.830m〔木元・日浦, 1971〕 (1ex., 7-V-1977, etc.). 龍野市神岡町 (1ex., 26-V-1986, etc.). 佐用郡南光町船越山〔木元・日浦, 1964〕. 宍粟郡一宮町福知溪谷 (1ex., 16-VI-1975, M. Yuma leg.), 波賀町水谷 (1ex., 17-VII-1981), 波賀町坂ノ谷 (1ex., 22-VII-1979). 氷上郡〔山本, 1953, 1958〕. 出石郡出石町〔高橋, 1963〕. 朝来郡和田山町枚田岡〔上田, 1996〕. 城崎郡竹野町三原, 三川山〔高橋, 1975〕. 養父郡関宮町氷ノ山 (6exs., 27-VII-1956, etc.)〔上田, 1996〕, 関宮町鉢伏高原〔上田, 1996〕, 大屋町建屋〔村山, 1953〕. 美方郡鉢伏山〔高橋, 1975〕, 温泉町扇ノ山〔辻, 1963, 辻・岸田, 1972, 高橋, 1975〕, 浜坂町〔磯野, 1985〕.

96. *Chrysomela vigintipunctata* (Scopoli, 1763)

ヤナギハムシ

Scopoliにより, ヨーロッパ中部産に基づき, *Coccinella vigintipunctata*として記載された種である (Ent. Corn., p.78, no locality cited, 1963).

Balyが1874年に長崎から記録した *Lina 20-punctata* Scop.がこの種を指しており, 日本からの最初の記録となる.

上翅は黄褐色, 左右それぞれ10個の黒紋を装い, 前胸背板は黒青色. 触角は黒色. 肢は黒色で, たい節の基部, けい節の一部は黄褐色. 体長6.8-8.5mm. 食草はヤナギ類. 分布は琉球を除く日本全土のほか, 朝鮮半島, シベリア, モンゴル, ヨーロッパ, インド北部, 中国と広い.

兵庫県下にも広く分布している.

産地: 洲本市安乎町〔堀田, 1956〕. 三原郡成相峠〔大野, 1969〕. 尼崎市西南部〔新家, 1992〕. 宝塚市大成町〔水野, 1993〕. 神戸市東灘区御影〔関, 1933〕, 兵庫区烏原 (1ex., 4-IV-1954, etc.), 西区木津 (4exs., 2-IV-1984), 西区広野 (神出町) (4exs., 12-IV-1958), 北区山田町丹生山麓 (31exs., 18-V-1958), 北区藍那 (1ex., 26-V-1993), 伊川谷町前開 (2exs., 7-VI-1988, etc.). 美囊郡吉川町奥山 (1ex., 5-VI-1996). 加東郡東条町森 (15exs., 7-VI-1984, etc.). 氷上郡〔山本, 1953, 1958〕. 豊岡市百合地, 立野〔上田,

1996〕. 城崎郡日高町道場〔高橋, 1975〕, 日高町神鍋, 上郷〔上田, 1996〕, 奈佐路 (7exs., 22-V-1986). 養父郡関宮町氷ノ山〔奥谷, 1955〕. 美方郡温泉町扇ノ山〔辻・岸田, 1972, 上田, 1996〕.

Genus *Gastrolina* Baly

97. *Gastrolina depressa* Baly, 1859 クルミハムシ

Balyが中国北部産に基づいて記載した種である (Ann. Mag. Nat. Hist. (3), 4, p.61, 1859). 同じく BalyがAmur産で *Gastrolina thoracica*として記載したものは (Trans. Ent. Soc. London, (3), 2, p.228, 1864), 本種と同じものである. 日本からはBalyにより1874年に *Gastrolina thoracica*として記録されている.

一般に黒色, 上翅は紫青色. 前胸背板は中央部が紫青色で, 側方部が赤褐色. 触角および肢は黒色. 前胸背板の側縁は前方に拡大する. 体長6.8-8.2mm.

食草としてオニグルミ, サワグルミなどが知られている. 琉球を除く日本全土に分布する.

兵庫県下にも広く分布している.

産地: 川西市笹部〔仲田, 1978〕. 宝塚市玉瀬〔水野, 1993〕. 神戸市北区山田町丹生山 (3exs., 5-V-1956), 北区山田町谷上 (4exs., 18-V-1958), 兵庫区烏原 (1ex., 16-VI-1984). 相生市三濃山〔大野, 1967〕 (35exs., 7-V-1972). 揖保郡新宮町福原 (2exs., 20-VI-1976), 波賀町音水 (6exs., 21-V-1972, etc.), 波賀町赤西 (2exs., 3-VI-1979), 波賀町坂ノ谷 (2exs., 9-VI-1973). 氷上郡〔青垣町〕神楽村〔山本, 1953, 1958〕. 朝来郡和田山町糸井溪谷〔上田, 1996〕. 出石郡出石町寺坂〔高橋, 1965〕. 城崎郡三川山〔高橋, 1975, 上田, 1996〕. 養父郡関宮町氷ノ山〔上田, 1996〕, 八鹿町妙見山〔上田, 1996〕. 美方郡温泉町扇ノ山〔辻, 1963, 辻・岸田, 1972, 高橋, 1975, 上田, 1996〕, 浜坂町城山〔磯野, 1985〕.

98. *Gastrolina peltoides* (Gebler, 1832)

ミヤマヒラタハムシ

Geblerが東シベリア産をもとに, *Chrysomela peltoides*と記載した種である (Nouv. Mem. Moscou, 2, p.74). 日本からはJacobyが *Gastrolina japonica*として記載したのが最初の記録である (Proc. Zool. Soc. London, 1885, p.210, pl.11, fig.12).

体は黒色で, 上翅は紫青色. 肢は黒色. 前胸背板は中央部が紫青色, 側方部は赤褐色. 個体によりたい節, けい節の基部は部分的に赤褐色. 前胸背板は前方に向かって狭まる. 体長6.2-7.7mm. 食草はケヤマハンノキ.

日本では北海道, 本州, 四国に分布している。兵庫県下の記録は大変少ない。よく調べる必要がある。
産地: 養父郡関宮町氷ノ山〔上田, 1996〕。美方郡温泉町扇ノ山〔高橋, 1975〕。

Genus *Gastrolinoides* Chûjô et Kimoto

99. *Gastrolinoides japonicus* (Harold, 1877)

ズグロキハムシ

Haroldが日本(萩)から*Melasoma japonica*として記載した種である(Dtsche Ent. Z., 21, p.361, 1877)。

体は赤褐色, 頭部と触角は黒色。腹面は赤褐色。後胸前側板は黒色。肢は黄褐色。たい節基部, ふ節は黒色。体長5.6-6.2mm。食草はイヌシデ, トサミズキ。分布は日本の本州・四国・九州である。

兵庫県下にも広く産するが, 個体数はそれほど多くない。

産地: 神戸市六甲山〜紅葉谷 (2exs., 18-VI-1967)。相生市三濃山 (1ex., 1-VI-1974)。宍粟郡波賀町音水 (2exs., 4-V-1972)。城崎郡城崎町来日岳〔上田, 1996〕。美方郡温泉町扇ノ山〔辻, 1963, 1972, 上田, 1996〕。温泉町霧ヶ滝, 浜坂町宇都野神社〔磯野, 1985〕。

Genus *Gastrophysa* Chevrolat

100. *Gastrophysa atrocyanea* Motschulsky, 1860

コガタルリハムシ

Motschulskyが東シベリア産で記載した種である(1860, Schlenk's Reisen Amurl., 2, p.222, pl.11, fig.3)。

体全体, 触角, 肢は黒青色。背面は強い点刻を密に装う。上翅の点刻は全体不規則に装う。体長5.2-5.8mm。食草はギンギシ。分布は北海道と琉球を除く日本全土, 海外では朝鮮半島, シベリア, 中国, 台湾, インドシナ。

兵庫県下には広く分布している。早春に多い。

産地: 津名郡津名町常隆寺山 (5exs., 20-IV-1974)。伊丹市〔河上, 1984〕。伊丹市猪名川畔 (7exs., 30-III-1986)。宝塚市売布ヶ丘〔水野, 1993〕。芦屋市内 (5exs., 16-III-1958)。神戸市兵庫区鳥原 (3exs., 6-IV-1982, etc.)。須磨区多井畑 (1ex., 2-VIII-1941, etc.)。北区藍那 (6exs., 21-IV-1993, etc.)。北区道場 (6exs., 13-IV-1974)。北区八多町屏風 (1ex., 4-VI-1993)。朝来郡和田山町枚田岡〔上田, 1996〕。豊岡市立野〔上田, 1996〕。城崎郡日高町赤崎〔上田, 1996〕。養父郡関宮町氷ノ山 (1ex., 24-VII-1955, etc.)。美方郡村岡町鉢北高原〔上田, 1996〕。

Genus *Goniocтена* Chevrolat

101. *Goniocтена japonica* Chûjô et Kimoto, 1960

トホシハムシ

中條道夫・木元新作両博士により, 日本各地産の標本をもって記載された種である(Niponius, Vol.1, No.4, p.5, fig.1,2, 1960)。体は赤褐色。上翅に5対, 前胸背板に1対の黒色紋を装う。食草としてハンノキが知られている。分布は日本の北海道, 本州, 四国, 九州である。

兵庫県下での記録は大変少ない。詳しい調査を必要としている種である。

産地: 川辺郡猪名川町民田, 上阿古谷〔仲田, 1982〕。川西市畦野〔仲田, 1982〕。養父郡関宮町氷ノ山 (1ex., 24-VII-1955)。

102. *Goniocтена nigroplagiata* Baly, 1862

ヤツボシハムシ

Balyが日本産で記載した種である(Ann. Mag. Nat. Hist., (3), 10, p.28, 1862)。Jacobyが兵庫産で記載した*Phytodecta robusta* (Proc. Zool. Soc. London, p.209, 1885)がこの種にあたる。

体は赤褐色, 上翅に4対の黒色紋を装う。個体により上翅の黒色紋は拡大し, 最も暗色の個体では全体が黒色となる。体長5.0-6.0mm。食草はエノキ。分布は本州と中国南部。

兵庫県には古い記録はあるが, 最近の追加記録がほとんど見られない。調査が必要な種である。

産地: Hiogo〔Jacoby, 1885〕。美方郡浜坂町城山〔磯野, 1985〕。

103. *Goniocтена rubripennis* Baly, 1862

フジハムシ

Balyにより日本から記載された種である(1862, Ann. Mag. Nat. Hist., (3), 10, p.28)。一般に黒色, 上翅は赤褐色, 個体によって中央に黒色の縦条を持ち, 時に全体が黒色。体長4.5-6.0mm。食草はフジ。分布は琉球を除く日本全土。

兵庫県下にも普通に見られる種である。

産地: 津名郡開鏡 (1ex., 24-V-1942)。愛宕山〔大野, 1969〕。三原郡諭鶴羽山, 成相峠, 洲本市鮎屋〔大野, 1969〕。洲本市先山〔大野, 1969, 堀田, 1978〕。川西市一ノ鳥居, 笹部, 横地〔仲田, 1978, 1982〕。伊丹市〔河上, 1984〕。宝塚市武田尾〔木元・日浦, 1964〕。玉瀬, 上佐曾利〔大野, 1993〕。神戸市六甲山 (1ex., 8-V-1955, etc.)。兵庫区鳥原 (1ex., 2-V-1939, etc.)。北区山の街 (1ex., 22-V-1949, etc.)。北区谷上

(2exs., 29-IV-1958), 西区広野 (10exs., 15-IV-1956), 北区藍那 (1ex., 22-V-1978, etc.), 北区淡河町芦谷溪谷 (1ex., 11-VI-1982), 西区木津 (1ex., 11-V-1984, etc.), 西区伊川谷町前開 (2exs., 19-V-1988, etc.), 北区八多町屏風 (1ex., 6-V-1993), 加東郡東条町森 (3exs., 29-IV-1984, etc.), 社町三草 (1ex., 15-V-1987), 神崎郡笠形山 (1ex., 12-VI-1975), 大河内町川上 (2exs., 7-V-1977, etc.), 多可郡加美町白山 (1ex., 3-V-1973), 加美町三谷 (1ex., 8-VIII-1975), 加美町鳥羽 (2exs., 29-IV-1972, etc.), 揖保郡新宮町福原 (3exs., 15-V-1992), 相生市三濃山〔大野, 1967〕 (1ex., 3-V-1969, etc.), 宍粟郡一宮町福知溪谷 (1ex., 20-VI-1976), 波賀町水谷 (1ex., 17-VII-1981), 波賀町音水 (2exs., 4-V-1972), 氷上郡柏原町 (1ex., 10-V-1953)〔山本, 1958〕, 多紀郡篠山町雨石山〔林ほか, 1995〕, 朝来郡和田山町糸井溪谷〔上田, 1996〕, 出石郡出石町寺坂〔高橋, 1965〕, 城崎郡三川山〔高橋, 1975, 上田, 1996〕, 日高町大岡山〔高橋, 1975〕, 日高町奈佐路 (1ex., 22-V-1986, etc.), 竹野町三原〔上田, 1996〕, 養父郡関宮町氷ノ山 (1ex., 24-VII-1955)〔上田, 1996〕, 養父郡八鹿町妙見山〔上田, 1996〕, 美方郡温泉町扇ノ山〔辻, 1963, 辻・岸田, 1972, 上田, 1996〕, 村岡町銚子ヶ谷〔上田, 1996〕, 浜坂町味原, 宇都野神社, 城山, 観音山, 村岡町兎和野〔磯野, 1985〕.

104. *Gonioctena takahashii* Kimoto, 1963

ヒメトホシハムシ

木元新作博士により, 栃木・徳島・長野各県産の標本をもとに新種記載された種である (Fragm. Col. ed. Nakane(4), p.15, 1963).

赤褐色. 背面の不鮮明な黒色紋には変異が多く, とくに全体が赤褐色あるいは暗褐色. 肢は黒色. 体長 5.6-6.0mm. 食草はヤナギ類, 分布は本州, 四国である.

兵庫県下からは次の記録があるだけである.

産地: 養父郡関宮町氷ノ山 (1ex., 24-VII-1955).

Genus *Linaeidea* Motschulsky

105. *Linaeidea aenea* (Linnaeus, 1758) ルリハムシ

Linnaeusにより, ヨーロッパ産をもとに *Chrysomela aenea* として記載された種である (1758, Syst. Nat. ed. 10, p.369). Balyが1874年, 横浜・函館から *Linaeidea* として記録したものが, 日本からの最初の記録となる.

地理的変異に富み, 原亜種では全体が金緑色で, 肢

は黒青色である. 本州南岸沿いに分布し, 肢が赤褐色のものは, subsp. *tsutsuii* Nakane, また四国・九州に分布し, 前胸背板と肢が赤褐色のものは, subsp. *insularis* Chûjô とされる. 体長は 6.8-8.2mm. 食草はハンノキ類, カバノキ類など. 分布は広く, 琉球を除く日本全国のほか, 国外ではサハリン, シベリア, 中国東北部, ヨーロッパ.

兵庫県下にも広く分布している.

産地: 川西市芋生〔仲田, 1979, 1982〕, 宝塚市切畑長尾山, 上佐曾利〔水野, 1993〕, 神戸市六甲山〔藤田, 1962〕 (5exs., 18-VI-1967, etc.), 教育植物園 (2exs., 9-VII-1961), 北区逢山峡 (9exs., 2-VII-1982, etc.), 氷上郡〔山本, 1958〕, 加東郡社町三草 (1ex., 14-VII-1989), 神崎郡大河内町川上 (1ex., 4-VI-1977), 豊岡市円山川公苑〔上田, 1996〕, 養父郡関宮町氷ノ山 (19exs., 24-VII-1955, etc.), 関宮町鉢伏山〔高橋, 1975〕, 八鹿町妙見山〔上田, 1996〕, 美方郡温泉町扇ノ山〔辻, 1963, 辻・岸田, 1972, 高橋, 1975〕, 村岡町鉢北高原〔上田, 1996〕.

Genus *Phaedon* Latreille

106. *Phaedon brassicae* Baly, 1874

ダイコンサルハムシ

Balyにより, 長崎産で記載された種で (Trans. Ent. Soc. London, 1874, p.174), 同時にBalyが長崎産で *Phaedon incertum* として記載 (ibid., p.175, 1874) した種はこの *P. brassicae* と同一種である.

体全体・触角・肢は黒青色. 体背面は強く隆起し, 前胸背板には強い点刻を密に装う. 体長 3.3-4.2mm. アブラナ科蔬菜の害虫である.

分布は北海道を除く日本全土. 国外では朝鮮半島, 中国, 台湾, インドシナ.

兵庫県下にも広く分布している.

産地: 川西市笹部〔仲田, 1978, 1982〕, 宝塚市武田尾 (1ex., 25-VII-1954), 武庫川 (2exs., 24-IV-1983), 神戸市六甲山 (3exs., 9-V-1955, etc.), 中央区二十渉 (2exs., 16-VI-1955), 兵庫区鳥原 (1ex., 2-VIII-1957, etc.), 北区山の街 (1ex., 5-V-1954, etc.), 北区逢山峡 (2exs., 2-VII-1982), 北区淡河町芦谷溪谷 (8exs., 13-IX-1982), 北区石楠花山 (1ex., 1-VI-1984), 西区伊川谷 (1ex., 13-V-1988), 三田市内 (2exs., 21-IX-1941), 明石市明石公園 (1ex., 15-VI-1945), 美嚢郡吉川町 (2exs., 27-VI-1985, etc.), 神崎郡大河内町川上 (4exs., 7-V-1977), 多可郡加美町鳥羽 (2exs., 1-VI-1975, etc.), 相生市三

濃山 (lex., 6-V-1973, etc.). 氷上郡〔山本, 1958〕. 出石郡出石町〔高橋, 1963〕. 豊岡市船町〔高橋, 1976〕. 養父郡関宮町氷ノ山 (3exs., 24-VII-1955).

Genus *Plagiodera* Chervolat

107. *Plagiodera vericolora* (Laicharting, 1781)

ヤナギリハムシ

個体変異に富むが、日本産の個体群では体全体が青色。上翅の点刻は不規則。体長3.3-4.4mm。食草はヤナギなど。分布は大変広く、日本全土のほか、インド北部、ヨーロッパ、アフリカ北部などにも産する。

兵庫県下にも広く普通に分布している。

産地：三原郡南淡町論鶴羽山、三原町成相峠、洲本市鮎屋〔大野, 1969〕. 川辺郡猪名川町木間生〔仲田, 1982〕. 川西市笹部、見野、初谷川〔仲田, 1982〕. 伊丹市〔河上, 1984〕. 宝塚市境野、売布ヶ丘〔水野, 1993〕. 西宮市盤滝 (2exs., 22-V-1987, etc.). 神戸市六甲山 (lex., 8-V-1955, etc.), 灘区摩耶山 (lex., 14-VII-1955), 兵庫区烏原 (lex., 24-VII-1939, etc.), 西区伊川谷 (2exs., 13-V-1988, etc.), 須磨区多井畑 (7exs., 19-VI-1990), 八多町屏風 (3exs., 6-V-1993, etc.). 三木市口吉川町 (4exs., 4-IX-1986), 大村 (lex., 10-V-1990). 美囊郡吉川町 (2exs., 11-VII-1985, etc.), 吉川町奥山 (8exs., 8-V-1986, etc.). 小野市来住町 (2exs., 26-VI-1991). 加東郡東条町森 (8exs., 11-V-1984, etc.). 神崎郡大河内町川上 (5exs., 7-V-1977). 多可郡加美町三谷 (lex., 13-IX-1975), 加美町鳥羽 (4exs., 8-V-1976). 飾磨郡家島町家島〔上田, 1981〕. 相生市三濃山〔大野, 1967〕 (lex., 6-V-1973, etc.) 赤穂市天和 (6exs., 6-X-1974). 宍粟郡波賀町音水 (2exs., 13-V-1974), 波賀町坂ノ谷 (9exs., 9-VI-1973). 朝来郡和田山町枚田岡〔上田, 1996〕. 出石郡出石町〔高橋, 1963〕. 豊岡市立野〔上田, 1996〕. 城崎郡城崎町ひのそ島、竹野町林、日高町上郷〔上田, 1996〕. 養父郡関宮町大久保谷川〔木元・日浦, 1971〕. 関宮町氷ノ山 (5exs., 2-VIII-1953, etc.)〔高橋, 1975, 上田, 1996〕. 美方郡浜坂町味原、宇都野神社、観音山、扇ノ山〔磯野, 1985〕. 村岡町鉢北高原〔上田, 1996〕.

Genus *Potaninia* Weise

108. *Potaninia cyrtonoides* (Jacoby, 1885)

アカソハムシ

Jacobyにより日本産をもとに, *Chrysomela*

*cyrtonoides*として記載された種である (Proc. Zool. Coc. London, 1885, p.206).

体は一般に銅黒色。上翅の肩部はほとんど隆起せず、後翅は退化する。触角はやや幅広く、末端節近くでは長さは幅の約1.5倍、密に剛毛を装う。体長4.8-6.0mm。食草はアカソなど。分布は本州、四国、九州、朝鮮半島。

兵庫県下での記録は大変少ない。

産地：宍粟郡波賀町赤西 (lex., 3-VI-1979). 養父郡関宮町氷ノ山〔高橋, 1975, 上田, 1996〕.

但馬むしの会 会員募集
但馬むしの会では新入会員を募集しています。
但馬の自然環境とそこで生活している昆虫、
様々な生き物たちに興味のある方、
是非入会してください！
あなたのお友達や、お知り合いにも
入会をおすすめください！
入会の申し込みは、事務局
〒669-6801 美方郡温泉町井土932-10、
黒井和之まで。